

地域の声を町へ



行政推進員と町との意見交換会

4月19日(月)、町国際交流会館で「行政推進員と町との意見交換会」が開催されました。各地区の行政推進員からは地域の声を代弁してさまざまな意見や要望が出されました。今回は意見交換会の内容の一部をご紹介します。

公園遊具について

Q 【公園通り】定期点検は実施していると思いますが、老朽化が進んでいる様に思われます。現状の遊具の状態および今後の遊具の交換、新規遊具の設置等の計画はあるのでしょうか。

A 【建設整備課長】遊具については、毎年定期点検を実施しており、安全が確認された遊具については引き続きご使用いただいております。また、現時点では新規の遊具設置や交換の予定はありませんが、皆さまのご要望があれば検討して参りたいと思います。

「地域巡回バスの運行について(お知らせ)」の乗車場所の標記について

Q 【みどり町】お知らせを見たときに乗降場所の標記について違和感を感じます。何点か修正すべきだと思います。

A 【企画観光課長】地域巡回バス運行お知らせの乗降場所標記につきまして、町民の皆さまが分かりやすく、馴染みのある場所の名称に

することで、より利用しやすくなるよう標記しておりますが、ご指摘のとおり、誤った標記、訂正した方がいいと思われる標記があり、気分を害された方もおられたと感じさせられました。

今後は、乗降場所の現況等を確認し、正確で分かりやすい標記に努めながら、場合によってはかっこ書き等で旧〇〇等と表記するなどの工夫をして参ります。

また、お知らせ等の情報更新の際には、確認・訂正等の徹底を図り、正確な情報を提供できるようにして参りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

福祉ボランティア活動助成について

Q 【山道】昨年度、町社会福祉協議会からの幸せの種まき運動関連の助成金が7月まで実施した分だけしか助成されませんでした。

町では、高齢者の見守り活動や福祉ボランティア育成、地域の福祉活動などについてどのようにかわっているのか。また、関連する予算はどれくらい計上しているのか。

【町民生活課長】

A 幸せの種まき運動事業は、地域住民総参加による共同活動の展開と福祉コミュニティの推進を図ることを目的とし、町社会福祉協議会が実施している事業であり、町はその事業に対し、福祉ボランティアの町づくり事業補助金として毎年100万円を補助しております。

昨年度は、町社会福祉協議会において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため年度途中で事業を中止したこともあり、事業実績に基づき20万1千円を補助しております。

今年度も、福祉ボランティアの町づくり事業補助金100万円を予算計上しておりますが、年度当初から当該事業は実施しないとの報告を受けています。また、町では、誰もが共に支



令和3年度 鶴田町行政推進員	
町内・集落名	氏名
派立	齋藤 恭藏
寺町	竹浪 秀治
仲町	上原 英夫
本町	長内 光男
駅前通り	澁谷 丞治
田中町	鶴谷 和美
桜町	松山 久志
富士見町	月永 洋子
公園通り	工藤 光雄
文化通り	鳴海 勝弘
鷹ノ尾	藤田 保
相原町	神 正治
みどり町	澁谷 兼幸
あさひ町	浅利 繁
駅前町	佐々木年一
大性	三浦 行雄
菖蒲川	佐藤 剛
鶴泊	三浦 清勝
亀田	坂本 康博
新田子	坂本 春義
大巻	尾崎 一男
強巻	奥瀬 多衛
胡桃館	花田柳太郎
境	奈良 幹夫
中野	田村 秀光
山道	一戸 雅人
桂井	須藤 貞夫
稲川	澁谷 教一
尾原	須藤 繁喜
田の尻	岡 雄一
野木	浅利 純一
間山	成田 豊昭
木筒	小山内英樹
鶴寿団地	神 和孝
前中野	鏡谷 聖
後中野	川村 和雄
掛元	天坂 則行
米元(共栄)	伊藤 学
稲元	石澤 秋彦
東瀬良沢	成田 幸治
西瀬良沢	成田 徳仁
沖	佐々木正幸
横菖	小坂 正仁
松倉	鈴木 理人

え合い住み慣れた地域の中で安心して暮らせるような地域福祉社会の構築と人材育成を目的とし、鶴田町ほのほのコミュニティ21推進事業を町社会福祉協議会に委託しております。

各地区にはほのぼの交流協力員を配置し、高齢者の見守り活動や、住民ボランティアの育成など、地域福祉活動を推進するための事業委託料221万3千円を予算計上しております。

今後も、地域福祉の推進を図り、誰もが安心して暮らせるような地域づくりに取り組んで参ります

スクールバスについて

Q 【境】 スクールバスの停車位置が日によって違うので、停車位置の徹底と停車位置の標示をお願いします。

A 【教育次長】 道路標示につきましては警察および道路管理者との協議等が必要となり現状では難しいと思われませんが、停車位置につ

きましては、去る4月12日に行政推進員をはじめ通学児童保護者の方々、並びに教育委員会、スクールバス運行業者の三者による立会いのもと現地に於て協議を行い、後日、保護者の方々から停留所候補地をご提案いただき、ことになっておりますので、停留所が確定された後は停車位置の徹底が図られるものと考えております。

また、各地区との協議事項につきましては、スクールバス停留所は、旧学区ごとに学校および保護者の方々から通学児童の住宅分布状況等を元に停留所候補地をご提案いただき、それに基つき安全面及び防犯面から五所川原警察署、およびスクールバス運行業者による現地確認を行った上で決定しておりますので、協議事項等は特にございませんが、通学児童の安全確保、特に冬期間における停留所の安全確保については、保護者に対してご協力をお願いしております。

動をはじめ地域の実情により、各地域内での合意を前提として停留所の見直しは可能となっておりますので、ご要望等がありましたらご連絡をお願いいたします。

最後に、スクールバスに関する担当部署についてですが、担当部署は教育委員会の学務総務班となっておりますので、ご意見、ご要望、お問合せ等がございましたらご連絡をお願いいたします。

防犯灯の交換について

Q 【掛元】 防犯灯について、寿命が約10年のようですが、今年で7年目に入りました。交換するのに1つあたり約2万円かかり、町内会で全て交換すると負担が大きいです。町の方で助成や交換のルールなどを決めて欲しいと思います。

A 【町民生活課長】 防犯灯の交換について、町としても多額の費用が必要というところは把握しています。今

後、その点について町の方で協議してまいります。

協議結果については、全行政推進員の方々に文書でお知らせいたします。

町内自主防災組織について

Q 【相原町】 今現在、町内の自主防災組織はいくつあるのか。町として各自自主防災組織を集めての意見交換会や講習会を開催して欲しいと思います。

A 【総務課長】 町内の自主防災組織は、今現在で22団体です。全世帯に対してのカバー率は56%となっております。

講習会などについては、県などから講習会の案内などがきており、各自自主防災組織にご案内させていただいております。自主防災組織でも活動が活発なところとそうでないところの温度差があるのが現状ですが、これから町内自主防災組織の意見交換会の開催を検討していきたい

とさせていただきます。



と考えております。